

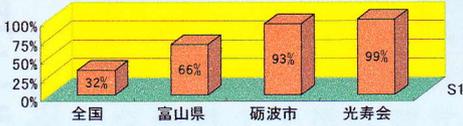
光寿

新緑のいかるぎ館

6月号
2009

発行 頼成光寿会

老人クラブ加入率



活動費補助九百四十万円、活動支援事業補助七百六十万円、高齢者相互支援事業費補助百万円など合計で千八百万円余りの予算を付けてその活動を促しています。

光寿会の

加入率日本一？

厚労省の統計によれば、全国の六十五歳以上の人口は約二千四百万人、そのうち老人クラブに加入している者は約七百八十万、加入率は約三十割ですが、この率は年々低下しているとのことです。富山県では二十七万六千人のうち十八万三千人が加入していて、その加入率六十六割は全国都

低迷する老人クラブ活動

全国的に見て老人クラブ加入率が年々低下しています。その背景には定年後も勤めたり、後継者がいないまま家業を続けたりする人も多く、「かつての悠々自適さはない」という厳しい社会情勢や、趣味の集いには参加しても、奉仕活動には興味を示さない人が増えてきたという個人主義の浸透があります。

しかし、急速に高齢化が進む中、寝たきりにならないための健康づくりや地区内での奉仕活動への参加など、老人クラブの存在意義ますます高まってきています。

老人クラブ活動の重要性に鑑み県でも老人クラブ連合会



季節のうた 夏つばめ田は夕影を宿しつつ

「ご家族のご了解を得て、故人の句集「柿の花」から、季節にふさわしい秀句を載せさせていただきました。ありがとうございます。」

道府県中第一位ですが、この率もこのところ低下傾向にあります。砺波市では一万一千八百人のうち一万一千人が加入していて加入率は県内第一位の九十二割と高い水準にあります。その中でも当光寿会はほぼ一〇〇割の加入率で、加入率だけで見れば日本一と言っても良いのではないのでしょうか。

わが光寿会は昭和三十八年市内でももっとも早い時期に設立された伝統ある会で、四年後の平成二十三年には五十周年を迎えることとなります。

今後は加入適齢期を迎える団塊の世代にいかに関心を持ってもらえるかなどの課題に取り組むながら、五十年の節目に向けて光寿会活動をいつそう盛り上げていきたいものです。

新緑の五箇山へ

楽しく恒例の日帰り旅行

光寿会恒例の日帰り旅行が、新緑の映える五月二十七日行われました。三十七名の

会員が参加してまずは城端善徳寺（城端別院）へ、



日頃は見ることも出来ない所を拝観したあと五箇山へ、世界遺産相倉合掌集落を見てくろば温泉にて昼食・入浴、ゆつくり

休んだ後流刑小屋や和紙の里に立ち寄り午後五時無事帰宅しました。



